



# 目指せ！ 平成維新

またまた菅政権、民主党内のドタバタ劇の末、今国会の会期が70日間延長されることになりました。

この間、皆さんご覧のように「やれ120日間だ、いや50日間だ、結局70日間だ」と二転三転した醜態を国民の前にさらし、政治全体への国民の不信感をさらに増幅させてしまいました。そうでなくても、この非常時に何も決められない、決めても遅すぎると、皆さんから散々批判されているのに、こんな国会の延長幅さえ、すんなり決

められない。

その間、我々野党の幹事長も、何度となく予定の会談を流され、待ちぼうけをくらった。まあ、菅総理と岡田幹事長以下執行部との「辞めろ」「辞めない」の綱引きの結果が如実に表れたということでしょうが、もう、この一点からしても、この内閣

## 菅内閣の当事者能力のなさバレバレに

に政権を担う当事者能力がないことがバレバレになりましたね。

みんなの党はこれまで、震災対応、原発事故対応等に万全を期すため、これからも国会を常時開いておく、すなわち、「通年国会」を主張してきました。大勢の被災者の方がいままも避難所において、復旧・復興の

ための補正予算や法案審議などの課題が山積している中、国会は一日たりといえども休んでいる暇はありません。その意味で、70日間の延長は中途半端で不十分ですが、その後、間を置かず臨時国会を開き、国民の期待する政治の責任を果たしていくことを前提に、この延長自体には賛成しました。

みんなの党は、せっかく延長した国会を、実のあるものにするため、政争や政局とは距離を置き、前向きな建設的議論を国会で

行い、その責任をまっしぐらに負っていきます。今後とも、震災対応や原発事故対応に関する議員立法を続々立案、提出していきます。また、みんなの党は、国会での党首討論

に参加する資格があるにも関わらず、これまで民主、自民等の反対で参加を邪魔されてきました。国会でも陰湿なイジメがあるんですね。「熟議の国会」と言うなら、ルール通り、我々も参加させるべきですよ。

会期延長には賛成しましたが、決して菅総理の延命に賛成したわけじゃありません。退陣表明して「死に体」になった菅総理は一日も早く退陣すべき、という立場は変わってません！念のため。

### WHO'S WHO

江田憲司(えだ・けんじ) 1956年岡山県生まれ。東大法卒。通産省入省。ハーバード大研究員、大臣秘書官を経て橋本内閣の首相秘書官。中央省庁再編や財政再建、普天間・北方領土返還等に携わる。完全

無所属で衆院議員を務め、09年8月にみんなの党を結党。幹事長に就任。現在3期目。

# 会期延長めぐるドタバタで国会不信さらに増大